

一般環境経路による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

176百万円（177百万円）

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

1. 事業の必要性・概要

石綿取扱い施設周辺などで一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域の住民を対象として、調査対象者を5年間追跡する調査を実施し、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

2. 事業計画（業務内容）

調査対象地域において、問診、胸部エックス線検査、胸部CT検査等の検査を5年間継続し、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行う。

中央環境審議会の答申を踏まえ、過去に調査対象地域に住んでいた者なるべく多く含めた形で調査を行い、より効果的・効率的な健康管理の在り方を検討・実施する。

さらに、中皮腫死亡者の多い地域においては、中皮腫死亡者（症例群）及び中皮腫死亡者以外の者（対照群）の石綿ばく露状況を比較し、石綿ばく露の形態による中皮腫発症リスクについて知見を収集する。

区分	22	23	24	25	26
石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査					
調査対象地域（7地域）					→
大阪府泉南地域等、尼崎市、鳥栖市、横浜市鶴見区、羽島市、奈良県、北九州市門司区					
石綿ばく露に係る症例対照調査			→		

3. 施策の効果

一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域において、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見が収集される。

一般環境経路による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

1. 石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

対象者

(1) 石綿取扱い施設周辺などで一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域 (7地域) の住民

大阪府泉南地域等、尼崎市、鳥栖市、横浜市鶴見区、羽島市、奈良県、北九州市門司区

(2) 過去に上記7地域に住んでいた者

(中央環境審議会の答申を踏まえ、過去に調査対象地域に住んでいた者をなるべく多く含めた形で調査を行う。)

(参考) 平成22年度までの調査対象者数(実績): 2,721名(平成22年度)、4,526名(平成18~22年度の累計実人数)

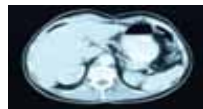
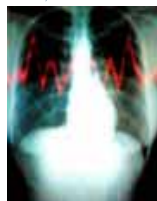
複数年の継続的な検査等

問診、
胸部X線、
胸部CT

有所見群

無所見群

胸水貯留、胸膜ブランク、
肺野の間質影等の8つの所見



石綿ばく露の状況の違い等(職業ばく露や非職業ばく露等)による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較を行う。

2. 石綿ばく露に係る症例対照調査

対象者

(1) 調査対象地域
中皮腫死亡者の多い地域
(上記1.の7地域より選定する。)

(2) 対象者
中皮腫死亡者(症例群)とそれ以外の者(対照群)を1対3~4の割合で選定する。

ばく露形態による 中皮腫罹患への影響

	症例	対象	合計
直接ばく露			
間接ばく露			
家庭内ばく露			
...			
...			

中皮腫死亡とばく露形態との関連の強さを推定する。

石綿ばく露者の中長期的な健康管理のあり方を
検討するための知見を収集